

和地ひとみレポート No.69

平成24年東大和市議会第4回定例会 一般質問『街づくり条例の運用について』 信頼関係の上に成り立つ協働による街づくり実現の工夫を



■情報公開は市民協働の第一歩だが

…12月4日から開催されているH24年東大和市議会第4回定例会において、和地ひとみは以下の2つのテーマについて一般質問をおこないました。

- ① 市民への情報提供について
 - ・東大和市の情報公開の考え方について。
 - ・東大和市の情報公開の現状について。
 - ・リニューアルしたホームページ(=以後 HP)について。
 - ・災害発生時の情報提供方法について。
 - ・コミュニティFMについて
- ② 街づくり条例の運用について
 - ・条例施行から2年たった現状について。
 - ・開発について。

…②の「街づくり条例の運用について」は、2年前に制定された「手続き条例」の運用の確認ですが、その条例の目的に書かれている「東大和市都市マスタープラン」において掲げた街づくり方針を具現するため、市民、開発事業者及び市の協働による街づくりを推進するとともに、法の規定に基づく都市計画の手続、開発事業の手続等を定めることにより、市民等相互の信頼関係に基づく街づくりの実践を図る」ことの現状と問題点、改善点について質問しました。

■幅4m未満の道は全体の15%

…東大和市も他のベッドタウンと同様に、マンションなどの開発、田畑が住宅に変わるなどの変化が進み、人口が増加しているとともに、その高齢化が進んでいます。市内を見渡すと、車のすれ違いが困難な道路も多く、緊急車両の通行で問題が生じる危険性があります。そこで、市内の狭溢道路(キョウアイドウロ=幅4m未満の道路)の長さを確認したところ、市内道路約210kmのうち、およそ15%の約32kmが狭隘とのこと。通学をする子供の安全、日常の交通の不便さなども考慮した場合、時間がかかっても少しずつでも解決すべき課題と考えます。

…道の両脇の土地のほとんどは市所有ではなく個人が所有。まして家屋などがあれば、なかなか道路を広げることは難しいのですが、開発という大きな変化が起こる際には、それを好機として幅員を広げられる可能性が高いと思います。しかし東大和市は開発許可を東京都に依頼しているため(例えば立川市は市自らが実施)、都が開発業者に許可を下ろした時点で、市からは業者に「お願いをする」という立場でしか話ができなくなります。そこで、市と都の連携について確認しました。答弁では、確かに市が開発許可、建築確認を行うことが街づくりをスムーズに進めるには理想だが、特殊技能を持つ方を市

が自前で抱えるということは東大和市の規模を考えると負担となることでした。開発などの場合は、都に申請を出す前に市との協議の場は持たれます。現場の状況を一番知っている市、法律さえ遵守されていれば許可を下ろさざるを得ない都の密な連携が必要であるとともに、少しでも利益に繋げる土地利用をしたいという開発業者の考えも理解しつつも地元住民の理解も得られる着地点を市が中心となって調整することが必要だと提言しました。…市に潤沢に予算があれば、土地を自ら購入し道路を拡幅することも可能です。しかし、市の財政状況、条例では、土地の持ち主をお願いする、話し合いで調整するということができません。地域住民の方もそのような事情はわかっていながらも、開発などがある場合、市の動きに不満を感じているという声は和地ひとみのところにも入ってきています。要するに、住民が気づいた時には都が許可を出した後で手遅れだという状況になっていることが多いのではないかと推察します。そこで、地域の街づくりを今後より良い方向に進めるために、今後、市ができる「工夫」の有無を確認したところ、地域住民と市が一緒になってその地区のルールづくりをし、地区の方々がそのルールに沿って協力し合うということが実現できれば可能との答弁がありました。

■市民と市が協力するというとは

…しかし地区のルールを作っていくという方法を知っている市民は少なく、また、先に述べたように開発など地域の大きな変化について「タイムリーに伝えてくれなかった」という気持ちが市民の中に芽生えてしまう状態をできる限り無くすることが街づくり条例の目的達成の第一歩ではないかと市には伝えました。

…一方で現在の条例、財政を含む体制の中で、市担当者が尽力し対応していることも事実です。それでも、市民から「市は何も対応してくれない」と感じてしまうのは、情報不足、コミュニケーション不足が原因だと思えます。これでは双方が不満を持つ状況になってしまいます。地域住民に法令上義務付けられた告知をしても全員に情報が行き渡るとは限りませんが、そこに「知らせなければ」という知らせる側の努力が感じられれば、信頼関係が生まれ、住民の希望が100%実現できなくても納得感は生まれます。

…今回の質問で取り上げた2つのテーマは一見、関連性のないようなものですが、街づくりだけでなく、市民に関わる様々な情報を今以上に積極的に市民に届け、市民も自分のこととして考え、行動できるようにすることが市民と協力することの基本ですので、市には今まで以上に市民目線で考えた方法の改善を依頼しました。